



所在地：青森県青森市荒川柴田125-1
 スタジオ面積：192.8㎡
 施主：青森朝日放送㈱
 設計：東芝エルティエエンジニアリング㈱
 施工：東芝エルティエエンジニアリング㈱
 完成：2015年1月

S342

1991年10月1日に青森県の民放テレビ局の3番目として開局したテレビ朝日系列の青森朝日放送㈱。
 開局から運用していた制作スタジオの設備の老朽化に伴い、
 スタジオ照明は省エネ性能の優れたLED器具に更新されました。

制作スタジオ照明をハロゲン器具から省エネ性能の優れたLED器具に更新

青森市に本社を置き、八戸、弘前、仙台、東京、関西に支社を擁しているABA青森朝日放送㈱。現在、制作スタジオでは平日18時15分～18時59分までの番組「スーパー」チャンネルABAを、毎週土曜日の9時35分～10時35分は番組「ハッピー」を生放送しています。また、その他の自社制作番組を収録しています。制作スタジオは、開局から24年の経年により設備の老朽化が進行してきたため、制作スタジオ照明にLED器具を導入すると同時に調光操作卓およびカラー制御ユニットなどが更新されました。

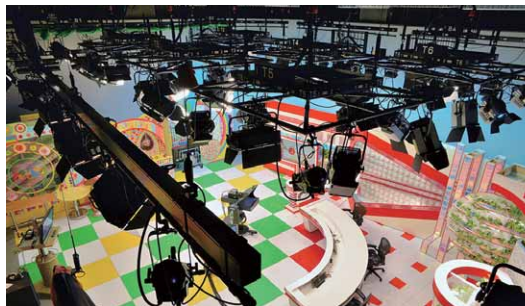
LEDスポットライト10000シリーズと省エネ大賞受賞のFORTEXなどに更新

制作スタジオの照明は、ハロゲンスポットライトおよび水平ライト（アッパー・ローア）を使用していましたが、今回の改修では、照明グリッドパイプに高出力・高演色のLEDスポットライト（FORTEXシリーズフレネルタイプおよび10000シリーズ）やLEDフラッドライト、LEDミニライトなどを採用し、壁面にはLED水平ライトアッパー・ローアを設置。これにより空調を含めたスタジオ照明運用時の全館デマンド計測では、ハロゲン運用時よりも平均30kW程度の低下が確認されており、さらに今後、社内各現場と調整しながら目標デマンド値を下げ、契約電力を少しでも小さくすることで、電力料金とCO₂の削減につなげていくよう検討されています。

調光装置は既存設備のSCR形調光器方式からボタン負荷設備、フローアコンセント設備の直回路方式に変更。SCR自立盤はプラグイン方式の直ユニットを実装し、ユニット故障時はユニット交換によりメンテナンス性の迅速化を整えたシステムとしています。調光操作卓は操作性や納入実績のある安定したVersa Stationを選定し、スタジオ運用に応じた水平ライトカラー制御が多彩な色表現を可能としています。



LED照明更新後の「スーパー」チャンネルABA制作スタジオ風景



制作スタジオ上部から更新後のLED照明を望む



LEDアッパー水平ライト



更新された調光操作卓Versa Station



照明ボタン昇降操作盤およびEMG操作盤



リモート操作パネル 可搬ボックス仕様

主な納入機器一覧

設置場所	器具名	形名	台数	備考
副調整室	調光操作卓 Versa Station	—	1	プリセットフェーダ40本×2段、17型TFT付属
	カラー制御ユニット	—	—	LED水平ライトカラー制御/17型タッチパネル付属
制作スタジオ	LEDスポットライトFORTEXシリーズ フレネルタイプ	AL-LED-FSH-L	15	LED 定格消費電力：237W
	LEDスポットライト10000シリーズ	AL-LED-FS-L-10-2	12	LED 定格消費電力：139W
	LEDフラッドライトSタイプ	AL-LED-SQA-L	26	LED 定格消費電力：159W
	LEDミニライト 4000シリーズ	AL-LED-ML-L-4	6	LED 定格消費電力：67W
	LEDカッターライト1000シリーズ	AL-LED-CT-L-1	2	LED 定格消費電力：24W
	LED水平ライト アッパー水平ライト	AL-LED-UH-C	29	LED 定格消費電力：140W
	LED水平ライト ロー水平ライト	AL-LED-LH	5	LED 定格消費電力：140W